

鳥取県地域医療介護総合確保基金

鳥取大学医学部附属病院 在宅医療推進のための看護師育成支援事業

令和6年度

**在宅医療推進のための看護師育成プログラム**  
T-HOC(Tottori-Home Oriented Care)

**受講生募集要項**

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター  
在宅医療推進支援室

## 令和6年度 開講式（予定）

開催日時：令和6年5月24日（金） 時間未定

会 場：鳥取大学医学部 記念講堂

・開講式

・オリエンテーション（コースごとに行います）

## 「在宅医療推進のための看護師育成プログラム」受講者募集要項

(T-HOC ナース育成プログラム)

これからの日本の医療は、訪問診療や訪問看護の方向へ大きく舵をきり、住み慣れた自宅で安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムおよびコミュニティ文化再構築が急がれています。

今後ますます、患者の退院後の生活をイメージしながら入院中からセルフケア支援ができる病院看護師、在宅療養者の医療処置管理や薬剤管理などの高度な知識や技術を備えた訪問看護師が必要とされます。

そこで、鳥取大学医学部附属病院医療スタッフ研修センターでは、在宅生活志向の育成と訪問看護能力の強化を目的に3つの看護師育成コースを開設しています。新任看護師の在宅生活志向を育てる「Ⅰ在宅生活志向をもつ看護師育成コース」、病院で働く看護師が訪問看護への関心を高める「Ⅱ在宅医療・看護体験コース」、そして地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うことで訪問看護実践能力を高める「Ⅲ訪問看護能力強化コース」です。

現在の職場に勤務しながらでも学ぶことができるプログラムで、修了者には鳥取大学医学部附属病院より修了証が交付されます。なお、本事業は鳥取県からの補助を受けて行うため、受講にかかる費用は不要ですが、集合研修の会場・実習先等への移動手段は各自でお願いいたします。また併せて、県の予算確保状況によっては、開講コース、教育内容に変更の可能性もあること、若しくは予算案が否決された場合は本プログラムを開講しない場合もございますことを予めご承知おきください。

### ○コース概要

	Ⅰ在宅生活志向をもつ看護師育成コース		Ⅱ在宅医療・ 看護体験コース	Ⅲ訪問看護能力強化コース
	基礎	実践		
目的	病院勤務看護師の在宅生活志向を高める		在宅を見据えた看護実践の強化や地域連携の技術取得	訪問看護に必要な技術強化
募集	40名	8名	30名	8名
対象	入職後3年以内の 病院看護師	基礎コース(2年間)の 修了者	3年目以上の看護職、 未就業の看護職経験者 (准看護師を含む)	訪問看護に興味がある看護 職、Ⅰ・Ⅱコース修了者、訪 問看護師、未就業の看護職 経験者(准看護師を含む)
期間	2年間	1年間	半年間	1年間
内容	2年間を通し、集合 研修及びディスカッ ション、レポート提 出、セミナー受講し、 在宅意識を高める。	集合研修及び訪問看 護ステーション・地域包 括支援センター・訪問 診療同行の各実習、レ ポート提出や振り返り、 セミナー受講を行う。	集合研修及び訪問看護 ステーション実習、退院 後家庭訪問実習、レ ポート提出や振り返り、 セミナー受講を行う。	「在宅医療・看護についての 講義及び演習」は勤務等を 考慮し柔軟に対応するオー ダーメイド型研修です。 訪問看護ステーション・地域包 括支援センターでの実習、 事例検討によるグループディス カッション、レポート提出や振り 返り、セミナー受講を行う。

## I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

基礎教育で学んだ在宅生活志向の看護は、病院就職後には知識習得の機会が乏しくなります。そこで、基礎教育の在宅看護論を、Home Oriented Care（病院内における対象者の在宅生活を志向したケア、以下HOCという）の概念に発展させて、継続教育を行うことで、対象者のこれまでの生活と退院後のこれからの生活を見据えた看護を実践することができる看護師を育成します。

本コースには、原則として入職後3年以内の看護師を対象とする基礎コースと、基礎コース修了者を対象とした実践コースの2つのコースがあります。

### 1. 基礎コース

募集人数：40名

対象：病院看護師（入職後3年以内）

期間：2年間（令和6年5月～令和8年3月）

※但し、2年目にあたる令和7年度の予定の詳細は、12月ごろにお知らせします。

【1年次】（研修内容については予定のため変更になる場合があります）

目的：病院看護師が在宅生活志向を高めることができる

- 1.患者の入院前・退院後の生活を意識することができる。
- 2.患者が地域・在宅療養へ移行するために、病院看護師として、多職種との連携の必要性を理解することができる。

	内容
第1回集合研修	新人看護師が、在宅生活志向の必要性を知る
セミナー	第14回T-HOC特別セミナー（任意）
第2回集合研修	訪問看護ステーションへ出向した看護師から、在宅生活志向への広がりを持った退院支援について学ぶ
第3回集合研修	実際に訪問看護師として活動している若手訪問看護師、新卒訪問看護師の報告や、意見交換により退院支援に必要な視点を理解できる。
セミナー	第15回T-HOC特別セミナー

【2年次】※令和7年度の予定の詳細は、12月ごろにお知らせします。

目的：病院看護師が在宅生活志向に基づいた入退院支援を実践できる

- 1.患者の入院前・退院後の生活について必要な情報を得てアセスメントし、その人にあつた入退院支援を実践できる。
- 2.適切な入退院支援をするために多職種と連携できる。

	内容
オリエンテーション	
第4回集合研修	在宅生活志向に必要な知識の確認ができる
個人課題	受け持ち患者への退院支援インタビュー（2事例）
セミナー	第14回T-HOC特別セミナー（任意）
第5回集合研修	在宅生活志向による病院看護師と訪問看護師の連携
受け持ち患者への退院支援インタビュー後の意見交換会	退院支援をした受け持ち患者への「外来受診時インタビュー」「退院支援カワリス参加」「退院前・退院後家庭訪問」を実施後、他の受講生と情報交換し、実施できている点と課題となることを明確にすることができる
セミナー	第15回T-HOC特別セミナー

## 2. 実践コース

募集人数：8名

対象：原則として基礎コース（2年間）を修了した者

期間：1年間（令和6年5月～令和7年3月）

目的：病院勤務看護師の在宅志向を高める

- 1.病院勤務看護師の在宅生活志向を強化し、退院支援の実践に活かすことができる。
- 2.家族を含めた患者が、在宅療養を送るために必要な地域の資源を提供することができる。
- 3.必要に応じて、多職種での連携を加味した退院支援を実践できる。

（研修内容は変更になる場合があります）

	内容
第1回集合研修	訪問看護師の役割を知ること、生活を中心とした看護の視点を明確にする。
セミナー (第2回集合研修)	第14回T-HOC特別セミナー【必須研修】 T-HOC受講生と総合診療医、医学生及び看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
実習	訪問看護ステーション実習・・・5日間 ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 (訪問看護ステーションの都合により日程を調整する) ※所属施設内の訪問看護ステーション実習も可能
	地域包括支援センター実習・・・1日
	訪問診療同行実習・・・1日
	退院支援実習 ・退院支援が必要な患者から1事例を選び、退院前カンファレンスの実施や退院後家庭訪問等退院支援を実施し振り返りをする。
※実習要項参照	
実習後の意見交換会	実習での学びを受講生同士で共有し、今後の看護実践に活かす。
課題提出	訪問看護ステーション実習レポート
第3回集合研修	3年間の学びを、今後の看護活動にどのように反映するか明確にする
セミナー	第15回T-HOC特別セミナー

## II 在宅医療・看護体験コース

地域完結型医療において、病院で働く看護職に求められる能力、すなわち、患者が地域で療養できるよう入院中から支援することができる人材育成を行います。患者の入院前・退院後の生活背景をイメージし、病気を抱えながらも地域で生活できるよう入院中から様々なケアを提供できる看護師を育成します。訪問看護についての関心や知識を深め、訪問看護師としての就労も自らのキャリアコースの一選択肢として考えることもできます。

訪問看護師としてキャリアアップを目指す方には、訪問看護職員養成講習（鳥取県看護協会）や、本プログラムのⅢ訪問看護能力強化コースもあります。

### ◆募集人数：30名

対 象：勤務3年目以上の看護職（准看護師を含む）、未就業の看護職経験者

期 間：半年間（令和6年5月～令和6年11月：令和7年3月修了式）

目 的：病院などの施設内看護師が、在宅で生活できるように、具体的な患者への支援方法について体験し、実践できる。

1. 退院後の患者の生活をイメージする力を養成する。
2. 在宅療養者および家族に対して果たす役割・機能・特性を理解する。
3. 患者が療養の場を移行する際に、看護の継続性を重視したマネジメントができる。

（研修内容は変更になる場合があります）

	内 容
第1回集合研修	・介護保険のサービス利用に至る過程や、在宅医療体制の中での訪問看護の役割を学ぶ。 ・訪問看護師の役割や、実際の業務について学ぶ
第2回集合研修	多職種連携の中でみえる地域での看護師の役割を学ぶ
実習	訪問看護ステーション実習・・・3～5日間（受講生が選択） ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 ※所属施設内の訪問看護ステーション実習も可能
※実習要項参照	退院後家庭訪問実習 ※所属長と相談の上決定する ・入院中に退院支援を行った患者に対して退院後訪問を行い実際の在宅療養生活を理解するとともに、自己の看護実践を振り返る。
セミナー	第14回T-HOC特別セミナー【必須研修】 T-HOC 受講生と総合診療医、医学生及び看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
第3回集合研修	訪問看護ステーションへ出向した看護師から、在宅生活志向への広がりを持った退院支援について学ぶ
実習後の意見交換会	実習で学んだことを、他の実習先で学んだ受講生と情報交換し、学びを深める * 訪問看護ステーション実習終了後に行います。
課題提出	退院後家庭訪問実習レポート、訪問看護ステーション実習レポート
セミナー	第15回T-HOC特別セミナー

### Ⅲ 訪問看護能力強化コース

訪問看護に求められるスキルの高度化に対応するために、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うものです。在宅療養者および家族に対して、熟練した看護技術を用いて、水準の高い看護が実践できる看護職者を育成します。また、本コースは、訪問看護師としての再就職を希望する未就業の看護職経験者への復職支援プログラムの一部でもあります。

募集人数：8名

対象：Ⅰ・Ⅱコース修了者、訪問看護経験者、未就業の看護職経験者、訪問看護能力の強化を目指す看護職（准看護師を含む）

期間：1年間（令和6年5月～令和7年3月）

目的：受講生がニーズに応じて、訪問看護師に必要な知識・技術の向上を図る。

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。
2. 在宅療養者が療養の場を移行する際に、医療と介護の連携、看護の継続性を重視したマネジメントができる。
3. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。
4. 地域包括ケアシステムを効果的に活用した療養者支援の質向上のため、看看連携におけるリーダーとして地域の人材育成の役割を果たすことができる。

（研修内容は変更になる場合があります）

	内容
必須講義	ID103：『訪問看護師の役割・機能・特性』 ----- ID601：『訪問看護実践に役立つ概念・理論』
講義及び演習	獲得したい能力に関連する科目を中心に 30 講義以上を受講する
実習	訪問看護ステーション実習・・・2～3日間（受講生が選択） ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 ※所属施設内の訪問看護ステーションでの実習も可能 ----- 地域包括支援センター実習・・・1日
セミナー	第14回T-HOC特別セミナー（任意） T-HOC受講生と総合診療医、医学生及び看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
実習後の意見交換会	受講生が各実習先で学んだことを共有し、今後の訪問看護の実践に活かす。
課題提出	訪問看護ステーション実習レポート
セミナー	第15回T-HOC特別セミナー

## ○内容及び方法：

1. 在宅医療・看護についての講義及び演習は、プログラムの中から獲得したい能力に関連する科目を中心に30講義以上を受講します。また、事例検討によるグループディスカッション、レポート提出等により能力強化を図ります。
  2. ID103：『訪問看護師の役割・機能・特性』、ID601：『訪問看護実践に役立つ概念・理論』の2講義は必須講義です。
  3. 受講者の経験や勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修です。また、遠隔講義ツール(zoom)により職場や自宅でのオンライン受講が可能です。  
※但し、遠隔講義が可能な一部の講義となりますので、ご確認ください。
  4. 訪問看護ステーション実習（2～3日間）・地域包括支援センター実習（1日）を行い実習後の意見交換会をします。
  5. 「Ⅰ.在宅医療の社会システム」「Ⅱ.在宅医療に必要な病態学」「Ⅲ.訪問看護に必要な技能」の各分野から1講義以上を受講した方は「T-HOC 在宅支援ナース」として認定証及びバッジを授与いたします。
  6. 講義の中には、鳥取大学医学部附属病院 看護部主催の専門看護師・認定看護師による専門分野コース研修と保健学科の学部講義の聴講（在宅看護学、家族看護論、尊厳のある死と看護）、認定看護師教育課程の聴講（DVD学習）も含まれます。但し、看護部主催のコース研修は複数コースの受講も可能ですが、受講数に加算できるのはⅠコースのみです。
  7. 訪問看護に関する学会、研修会等、病院内の研修等へ参加された場合は、受講証明書および報告書を支援室に提出していただき、参加された研修会の内容等を審査し、受講数への加算を決定いたします。但し、受講数に加算できるのは最大2つの学会・研修会等とします。
  8. 修了者には、鳥取大学医学部附属病院より修了証を交付いたします。
  9. T-HOC 講義時間（基本）
    - 1限：9：00～10：30
    - 2限：10：40～12：10
    - 3限：13：00～14：30
    - 4限：14：40～16：10
- 【重要！】 講義によっては、上記の時間と異なる場合があります。  
受講前には、必ず 「講義時間・講義室」 を確認してください。



◆講義及び演習（※予定のため変更になる場合があります。）

	科目	方法	講義数	備考
I 在宅医療の社会システム	1.地域包括ケアシステム	講義	7	
II 在宅医療に必要な病態学	2.在宅医療病態論	講義・演習	6	
III 訪問看護に必要な技能	3.在宅における医療処置管理 (学部聴講) 看護部コース研修 (講義は5~10回/1コース)	講義・演習	11 1 確認中	
	4.在宅薬剤管理	講義	4	
	5.フィジカルアセスメント	講義・演習	8	
	6.セルフケア支援	講義・演習	1	
	7.家族支援 (学部聴講)	講義	2 2	
	8.エンド・オブ・ライフケア (学部聴講)	講義	3 1	
	9.対人関係	講義	4	
	10.リーダーシップ	DVD学習	5	
	11.指導	DVD学習	3	
	12.看護倫理	DVD学習	5	
	13.看護技術	DVD学習	5	
IV 訪問看護に必要な知識の習得のための研修会や学術集会参加				
講義数	T-HOC 講義(DVD含む) 学部聴講 看護部コース研修		64 4	合計

## IV 病院・訪問看護ステーション間の出向・人事交流

### [出向]

募集人数：3名程度

対 象：① 原則 T-HOC：Iコース（基礎・実践コース）を修了した者  
② ①の希望者が無い場合、T-HOC：IIコース、IIIコースを修了した者  
③ ①及び②の希望者が無い場合、T-HOCを受講している施設で出向を希望する看護師

資格・条件：看護師臨床経験3年以上  
クリニカルラダーレベルⅡ～Ⅲ

期 間：原則1年間 最長2年間（派遣先施設との協定により個別に対応）

目 的：①訪問看護師の人員確保  
②施設間の連携を強化する  
③病院勤務看護師が在宅志向を高める

内 容：出向は1施設につき1看護師とする  
訪問看護ステーションでの看護業務  
出向後は出向前の籍に戻り、退院支援ナース等として承認し、職場で活動する。  
鳥取大学医学部附属病院の場合は、看護部コース研修「退院支援人材育成コース」の講師を務める。

### [人事交流]

未定

## ○応募手続き

### ① 申し込み

受講コース	受付開始	〆切
I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（基礎）	<b>3月1日（金）</b>	<b>5月13日（月）</b> ※定員に達しない場合は 〆切を延長いたします。
I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（実践）		
II 在宅医療・看護体験コース		
III 訪問看護能力強化コース		

### ② 提出書類

※次ページに記入例があります。

- (1) 様式1：受講申込書
- (2) 様式2：履歴書（写真は免許証等のカラーコピー可）
- (3) 様式3：受講承諾書（所属長の承諾を得ること）

※未就業の看護職経験者の方は、T-HOCへご相談ください

☆添付の様式1～3はコピーしてお使いください。（ホームページからもダウンロードできます。）

### ③ 送付先・連絡先

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター在宅医療推進支援室

電話 0859-38-6994 FAX 0859-38-6996

### ④ 決定通知

受講決定通知書は、所属長宛にお送りします（5月中旬頃を予定）。

### ⑤ 問い合わせ方法

- 電話：0859-38-6994（平日8：30～17：00）
- メール：t-hoc@med.tottori-u.ac.jp  
（お問い合わせ内容、お名前、資料送付をご希望の場合はご住所など）
- 問い合わせフォーム：裏表紙のQRコードを読み込んでください

検索

鳥大在宅

▶ 鳥取大学医学部附属病院 在宅医療推進のための看護師育成事業

★新着情報 ▶ 問い合わせフォーム

★募集要項 ▶ 受講申込書（Word・PDF）

# 受講申込書

令和 年 月 日

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター長 殿

私は、鳥取大学医学部附属病院において研修を受けたく、ここに必要書類を添えて申請いたします。

希望するコース（○で囲んでください）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（基礎）</li> <li>・ I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース（実践）</li> <li>・ II 在宅医療・看護体験コース</li> <li>・ III 訪問看護能力強化コース</li> </ul>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p><b>必ず希望するコースを○ で囲んでください</b></p> </div>
◆志望動機（出来るだけ具体的に記載してください）	
ふりがな	
氏名	
現住所	〒 -
連絡先電話番号※	- -
メールアドレス (資料添付の場合あり)	
勤務先名・部署	
勤務先住所	〒 -
(電話番号)	( ) -

**必ず連絡が取れるアドレスをご記入ください。**  
**(受講決定のご連絡や今後の予定について送信します)**  
 ※大文字、小文字、-(ハイフン)、\_(アンダーバー)、0(ゼロ)、  
 o(オー)等ははっきりと分かるようにご記入ください

※昼間に連絡させていただく場合がございますので、ご了承ください。

なお、ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

令和 年 月 日現在

## 履 歴 書

写真を貼る位置  
縦 36mm~40mm  
横 24mm~30mm  
(免許証等のカラー  
コピーなど)

ふりがな		性別
氏 名		
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
免許の種別	登録番号	登録月日
看護師籍	第 号	年 月
保健師籍	第 号	年 月
助産師籍	第 号	年 月
准看護師籍	都道府県 第 号	年 月
学 歴		
年 月	〇〇〇〇高等学校 卒業	
年 月	〇〇大学〇〇部〇〇科 入学、〇〇〇専門学校 入学 など	
年 月	同 上 卒業	
年 月		
年 月		
年 月		
職 歴		
年 月	〇〇〇〇 〇〇病院 看護師 採用 〇〇科配属	
年 月	同 上 退職	
年 月	医療法人〇〇会 〇〇病院 看護師 採用 〇〇科配属	
年 月	現在に至る	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

配属先の診療科を  
ご記入ください

※ご記入いただいた個人情報は、本事業以外の目的には使用いたしません。

## 受講承諾書

令和 年 月 日

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター長 殿

ふりがな	
受講者名 (本人自署)	
所属施設	
部署	
職 名	
受講コース (コース名に○印)	I 在宅生活志向を持つ看護師育成コース (基礎) I 在宅生活志向を持つ看護師育成コース (実践) II 在宅医療・看護体験コース III 訪問看護能力強化コース

このたび当施設より上記の者が、鳥取大学医学部附属病院在宅医療推進のための看護師育成プログラムの研修コースを受講することを承諾いたします。

必ず受講の承諾を得てください。

なお、研修等の案内文は記載された受講承諾者宛に送付いたします。

所属施設における受講承諾者 (所属長)	
役職	お名前



募集要項、受講申込書  
ダウンロード



問い合わせフォーム



T-HOC ホームページ

(<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/hoc/>)

《お問い合わせ》  
鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター  
在宅医療推進支援室

電話 : 0859-38-6994 FAX : 0859-38-6996  
e-mail : t-hoc@med.tottori-u.ac.jp